

## 米国議会図書館の今日

米国議会図書館(Library of Congress)は、書籍、印刷物、音声資料、写真、地図、楽譜、映画、原稿など、現在もお増え続ける1億5千万点を超えるコレクションを誇り、世界最大といわれる知識と創造力の宝庫です。

図書館の中核は蔵書ですが、米国の政治家トーマス・ジェファーソンが所有していた書物を始め、現代文化を反映する最新資料まで、あらゆる分野のものを所蔵しています。本図書館は、主閲覧室と21の専門閲覧室における研究の支援、世界中の重要人物に関する文書等の数百万点にも及ぶ貴重資料の保管、様々な講演の場の提供、歴史や文化に関する展示の作成、そして広範囲にわたる書籍や教育資料の製作などを行っています。また保存並びに情報管理科学の世界的リーダーとしての役割も果たしています。

本図書館は、効果的な国内著作権システムの維持管理により創造性の促進を目指す米国著作権局、米国内で点字及び音声資料を貸し出す視覚並びに身体障害者のための全国図書館サービス、連邦議員を対象に独自調査を行う議会調査局、そして膨大な国際法律資料を所蔵する米国議会法律図書館の本拠地でもあります。所蔵コレクション、ウェブキャスト、コンサート、展覧会、その他の図書館プログラムに関する情報は、本館のウェブサイト [loc.gov](http://loc.gov) にて公開されています。

## 沿革

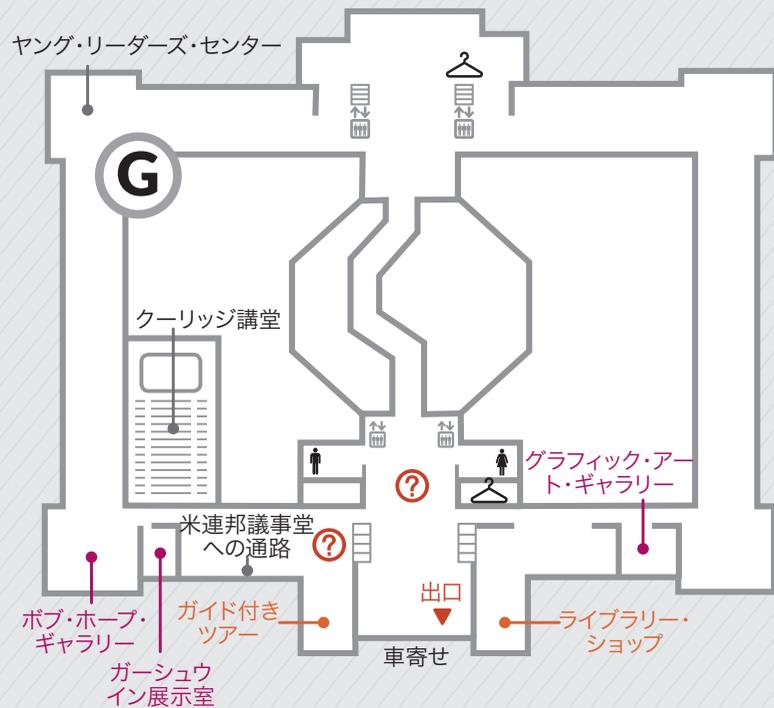
米国議会図書館は、ジョン・アダムス大統領が首都をワシントンに移転する法案に署名した1800年に創立されました。その法律には米国議会に必要な書物を収蔵する図書館であると記述されています。当初の所蔵コレクションであった740冊の書籍と3枚の地図は、1814年8月に米国に侵攻してきた英軍によって焼き払われるまで議事堂内に収められていました。

その損失を補うために、当時すでに退職してモンティチェロに在住していたトーマス・ジェファーソン大統領が自らの蔵書の提供を申し出ました。1815年1月に、米国議会はジェファーソンの蔵書6,487冊を購入するために23,950ドルを充て、これによって大規模な国立図書館の基礎が築かれることになったのです。どのような分野も米国議会にとって重要であるというジェファーソンの信念は、今日かつ米国議会図書館が広域分野にわたり資料収集を行う理念として受け継がれています。トーマス・ジェファーソン文庫は二階南奥のギャラリーに展示されています。

連邦議事堂内の収蔵スペース不足と2回の大火災から学んだコレクションの安全性確保の重要性を考慮して、米国議会は本図書館を別棟として建設することを承認しました。

1897年11月1日に開館された新築の「議会図書館」は、輝かしい国家的記念建造物として歓迎されました。本図書館の歴史上大きな貢献を果たしたジェファーソンに敬意を表して、1980年にこの建物はトーマス・ジェファーソン館と名付けられました。1984年から1997年にかけては、19世紀建設当初の美しさを醸し出すべく、復元修復作業が行われました。

ⓐ 地上階    ♿ お手洗い    ⓘ 案内カウンター    🎒 携帯品一時預り所



ヴァーチャルツアーについては [loc.gov](http://loc.gov) をご参照ください。

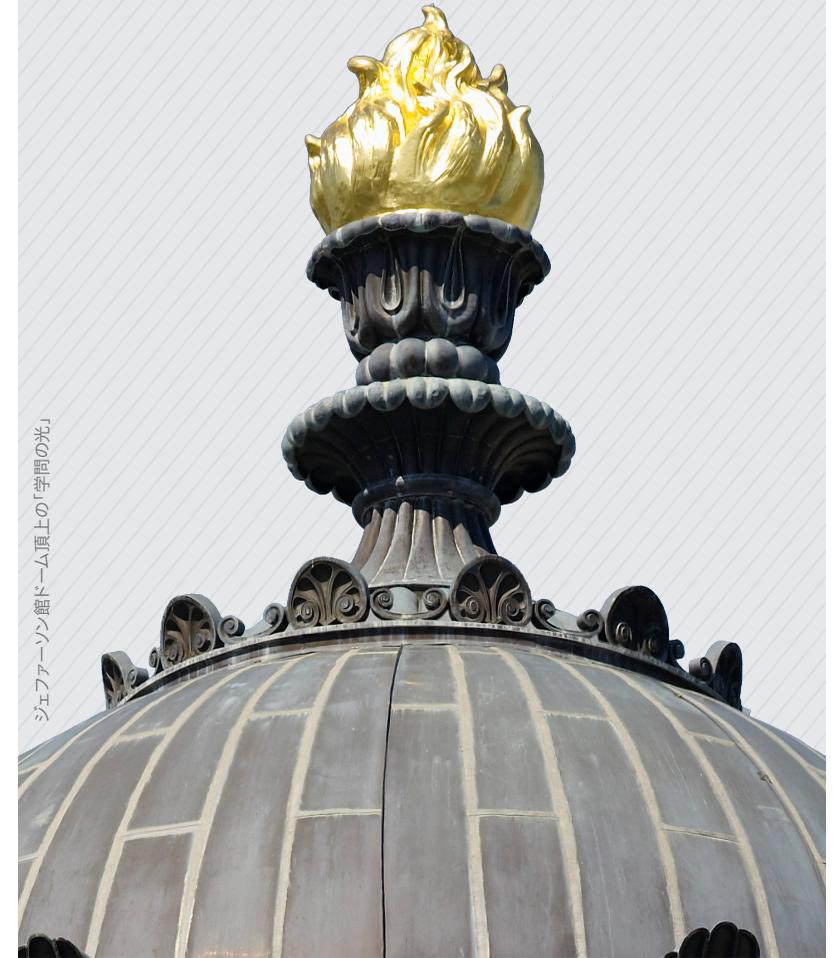
トーマス・ジェファーソン館と展示  
開館日: 月曜日～土曜日午前8:30～午後4:30  
休館日: 日曜日、元旦、感謝祭(11月第四木曜日)、クリスマス



10 First Street SE  
Washington, DC 20540  
T 202-707-8000  
[loc.gov](http://loc.gov)

# トーマス・ジェファーソン館

ジェファーソン館ドーム頂上の「学問の光」



## トーマス・ジェファーソン館

キャピトル・ヒルに存在する議会図書館の3つの建物の中心的存在であるトーマス・ジェファーソン館は図書館として建設され、1897年に開館しました。本館の美術装飾は、学問、文学、知識、想像力、そして知的成就というテーマに関連しています。そしてそれらは全館の至るところに象徴されています。例えば、ローマ神話の女神ミネルヴァは文明の保護者そして全世界の知識を司る女神です。学問とその成就の表象である書籍や巻物、たいまつなどの描写を探索してみてください。本館は、ワシントンDCに電気が導入されてから初めて完成した建物であり、館内に施された電球からも、ジェファーソン館が科学的発見の時代に建設されたことが判ります。

### 一階 ①

#### 大ホール

工期と予算を順守し完成した壮大なイタリア・ルネサンス様式の建造物、ジェファーソン館の中心的存在は、その大ホールと言えるでしょう。大理石の床から約23メートルの高さにある天井は、アルミニウム箔の装飾縁取りが施されたステンドグラス天窓で飾られています。三角ヴォールト天井には、世界中の著名な作家や思想家の名前が記されています。大理石の床には、大きな真鍮の象嵌細工で作られた羅針図が配され、その回りには、ホールを四角く囲むように黄道十二宮星座が配されています。

この大ホールの南北には、大理石造の階段が位置しています。手摺に刻まれた子供たちは、ウサギと猟師、受話器と電気技師、捕蝶網と昆虫学者といったように、商業の象徴をも含めた様々な職業や趣味を表しています。両階段半ばには、アフリカとアメリカ、そしてヨーロッパとアジアを代表する子供たちの像に囲まれた2つの地球儀があります。

大ホール東側に位置する記念アーチには、生涯学習の重要性を示す若者と老人の像「学ぶ者 (Students)」が刻まれています。

大ホールについて更に詳しく知りたい方は、二階回廊部にあるインタラクティブ・スクリーンをご利用ください。

#### ゲーテンベルグ聖書とマインツの聖書

記念アーチを通り抜けると、本図書館貴重所蔵品の2つに含まれる、手書きのマインツの大聖書と活版印刷のゲーテンベルグ聖書の展示をご覧頂くことができます。これらの聖書はいずれも1450年代半ばにドイツのマインツで作成されました。ゲーテンベルグ聖書は、ヨーロッパにおいて金属製活版印刷技術を用いて印刷された最初の書物です。

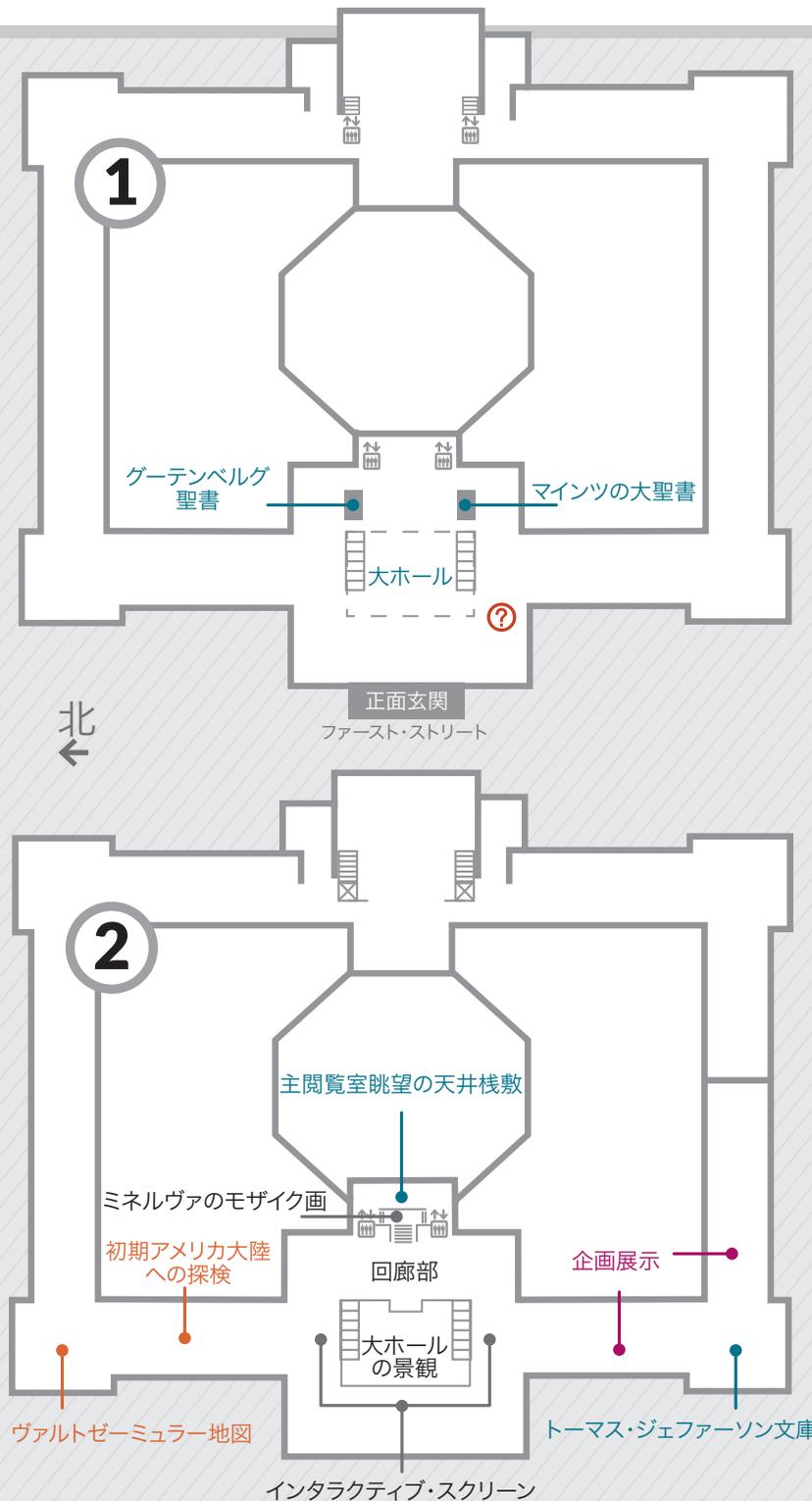
さらにエレベーター近くのアルコブには、エリユー・ヴェッダーによって描かれた、政府を描写した5つの半円形絵画が見られます。主閲覧室を垣間見る扉上部には理想的な政府が示されています。その左側には腐敗した立法府と無秩序を示す絵画が、右側にはよい政府、そして平和と繁栄を示した絵画が掲げられています。

上記の聖書と絵画についての詳細は、聖書の近くに配されたインタラクティブ・スクリーンでも紹介されています。

### 二階 ②

#### ミネルヴァのモザイク画

二階東側の階段は天井棧敷に通じ、来館者の方々はそこから主閲覧室



お勧め見学コースは色分けされています：

15～30分

30～60分

1時間以上

① 一階

② 二階

① 案内カウンター

を眺望することができます。

この階段の基壇辺りから、エリユー・ヴェッダー製作の、ガラスや金箔、そして大理石を用いたミネルヴァのモザイク画をご覧ください。ミネルヴァが主閲覧室を守るような姿勢で立っていることがおわかり頂けると思います。正面右側には勝利を表すナイキの像、左側には知恵の象徴であるフクロウが配されています。ミネルヴァは文明に重要な様々な学問・研究分野を列挙した巻物を掲げています。

#### 主閲覧室の眺望

(通り抜けのみの可能性あり)

主閲覧室のドーム型天井高は、床から約49メートルです。このドーム頂部の輪状壁画には、1897年当時に西洋文明の発達に貢献したと考えられていた国、文化、時代を代表する12人の人物画がエドウィン・ブラッシュフィールドによって描かれています。8つの半円形のステンドグラス窓は、45州と3つの領土(1897年にはまだ米国の一部ではなかったアラスカ州とハワイ州を除く)の州章により装飾されています。

8本の巨大な大理石柱各上部には、文化的生活と思考の特性を表す象徴的人物の石膏像が掲げられています。欄干上の銅像は、上記石膏像に表象される8つの知識分野に生涯貢献した16人の像で、それらの人々への敬意を表するものです。

右から左に、モーゼと聖ポール(宗教)、ロバート・フルトンとコロンブス(商業)、エドワード・ギボンとヘロドロス(歴史)、ベートーベンとミケランジェロ(芸術)、フランシス・ベーコンとプラトール(哲学)、ホーマーとシェイクスピア(詩)、ジェームス・ケントとソロン(法律)、そしてジョセフ・ヘンリーとアイザック・ニュートン(科学)が並んでいます。これらに表象される知識の輪は、研究者が図書館の膨大なコレクションを利用する際に使用する、主閲覧室の年輪状に配された236の机の輪へと呼応していきます。

#### 回廊部

回廊の各コーナーには、赤褐色のパネルに天使たち(Virtues)が描かれています。また三角ヴォールト天井を飾る56の円形の印刷所の標章にも注目してみてください。回廊北側のヴォールト天井天頂に描かれた八角形の絵画は五感を表現し、またアーチ上部の円形壁画は知識、英知、理解、哲学を示しています。

回廊西側の窓からは、美しい米連邦議事堂を眺めることができます。ヴォールト天井各長辺に描かれた8つの人物像は、科学を示しています。天井の各短辺には著名な科学者の名前を記した銘板が配されています。天頂に描かれた3つの大メダルは、彫刻、建築、そして絵画といった芸術を描写しています。

回廊南側のヴォールト天井天頂には、三美神を描いた八角形の絵画があります。それら両端に配された長方形のパネルには、野球とフットボールとが描かれています。アーチ上部の4つの円形壁画は四季を描いています。

その他館内では、様々な企画展示が開催されています。